

## 令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

### 語学・大学留学コース 10月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

10月は寒くも暑くもない過ごしやすい天気、葉の色も変わり始め、秋を感じています。秋休みや中間テストなどがあり遊びも勉強もかなり充実していました。今回のレポートでは特に秋休みと課外活動についてご紹介します。

#### 【秋休み】

10月1日から4日まで秋休みでした。友人が運転してくれ、テネシー州のグレートスモーキーマウンテン国立公園に行きました。国立公園ではハイキングをし、野生動物を車から見るツアーも行いました。ハイキングは片道7マイル（約11km）の大変な道のりでしたが、頂上からは雲海が見え、疲れが一気に吹き飛びました。夜は山にある展望台で星空観察をしました。街の光が全く見えない場所で見ると星がはっきりと見え、自然の雄大さを感じました。また、ハイキングに行く途中で野生のクマを見ることができました。国立公園ということで、野生の動物や自然と人間がうまく共生している素敵な場所でした。



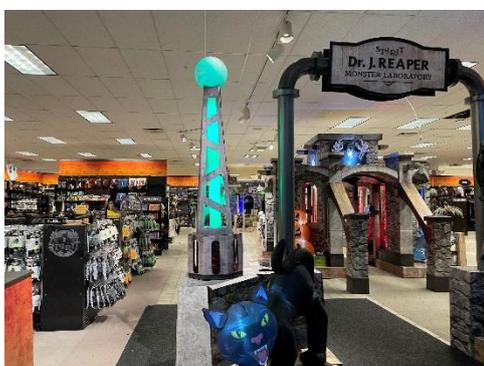
頂上からの景色です。天気にも恵まれ最高の思い出になりました。



車の中から小熊をみました。他にも熊4頭と鹿などに会えました。

## 【ハロウィン】

アメリカではハロウィンが一大イベントらしく、9月頃から多くの家がハロウィンの飾りつけをしていました。もちろん学内でもハロウィンに関するイベントが多く開催され、私の住んでいる家でも、ハウスメイトがカボチャモチーフの飾りつけをしてくれました。キャンパス近くのショッピングモールにはハロウィンの時季限定でコスチュームショップが開店し、様々な仮装が売られていました。ハロウィン直前の週末には友人と共にダウンタウンで行われたハロウィンパレードを見に行ったり、家でハロウィンパーティーを行ったりして楽しみました。ハロウィン定番イベントのパンプキンカービングやパンプキンペインティングをしそびれたのが悔やまれますが、日本のハロウィンとは異なる本場のハロウィンを体験することができました。



期間限定のハロウィンコスチュームストアです。



ハロウィンパレードです。フロートが凝っていて楽しかったです。



ダイニングホール近くの家です。派手な飾りつけが目を引きます。



学内イベントのハロウィンビンゴで行われた仮装大会です。

### 【フードパントリー】

10月の中旬に学内で行われたフードパントリーという食料配給のボランティアに参加しました。今回参加したものは、毎週土曜日にオハイオ州内で場所を変えて行われている取り組みだそうです。食料をもらうためには収入制限があり、基準以下の収入である必要があります。今回は約200家族、470人に食べ物を配りました。大学内での生活ではあまり感じることはありませんでしたが、アメリカ社会の貧困問題について学ぶ良い機会となりました。食料をもらいに来る人は私たちと同じに見えるからこそ貧困問題は気づきにくく、誰もが気軽にアクセスできる支援を常に用意しておくことの重要性を感じました。



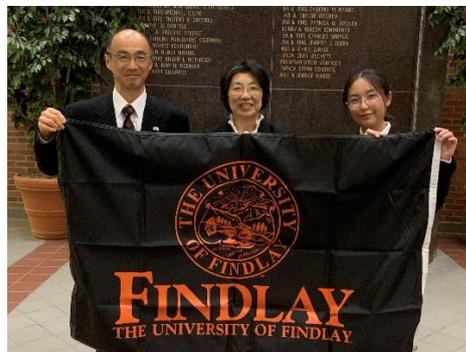
写真内の箱に入っているすべての食料を配給しました。



食料は車のトランクや後部座席に運び込みます。

### 【北朝鮮拉致事件に関するディスカッション】

10月19日に在デトロイト日本国総領事館の進藤総領事をお迎えし、北朝鮮の拉致事件に関するプレゼンテーションとディスカッションが開催されました。アメリカでは拉致事件についてあまり知られていないという点に驚いたと同時に、私自身も拉致事件について知らないことが多く、拉致事件について学習する必要性を感じました。2002年の最後の拉致被害者の帰還から既に20年たっており、記憶の風化も進んでいると思います。拉致問題やその被害者について忘れないことが解決において重要であると学びました。



本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、[miyaharay@findlay.edu](mailto:miyaharay@findlay.edu) にお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てば幸いです。